

別紙

I. 事業評価総括表 (30 年度)

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は維持運営措置	市営林道御岳線2級修繕工事	甲府市	4,400,000	4,400,000	総事業費 4,687,200

II. 事業評価個表 (30 年度)

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営措置	市営林道御岳線2級修繕工事
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		甲府市
交付金事業実施場所		甲府市御岳町地内外
交付金事業の概要	<p>林道舗装面が、経年劣化によりクラック（ひび割れ）が生じると共に、陥没箇所が散見され通行に支障をきたしていることから、通行車両の安全を図るために劣化した舗装面の修繕工事を実施します。</p> <p>また、排水施設の老朽化により、通行に支障をきたしていた箇所についても併せて修繕工事を実施します。</p> <p>施工延長 L=42.2m 舗装工 A=203.1㎡ 側溝工 L=19.0m</p>	

<p>交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標</p>	<p>【主要施策・施策】 第六次総合計画（平成28年度～平成37年度） 2 魅力があふれ人が集う活力あるまちをつくる（活力） 施策の柱；産業を振興する ②農業・林業の振興 ・林業の活性化を図るため、適正な森林施業をはじめ、林道の整備、林業経営の安定化などに努めます。また、市営林道及び作業路の適正な維持管理により、林業振興と地域住民の生活道路の確保を図ります。</p> <p>【目標】 修繕箇所における苦情件数0件</p>				
<p>事業開始年度</p>	<p>平成28年度</p>		<p>事業終了（予定）年度</p>	<p>平成37年度</p>	
<p>事業期間の設定理由</p>	<p>第六次総合計画の終期</p>				
<p></p>	<p>成果目標</p>	<p>成果指標</p>	<p>成果実績</p>	<p>単位</p>	<p>評価年度 平成31年度</p>
<p></p>	<p>修繕箇所における苦情件数0件</p>	<p>修繕箇所における苦情件数0件</p>	<p>件</p>	<p>件</p>	<p>0</p>
<p></p>	<p></p>	<p></p>	<p>目標値</p>	<p>件</p>	<p>0</p>
<p></p>	<p></p>	<p></p>	<p>達成度</p>	<p>%</p>	<p>100%</p>
<p>評価年度の設定理由</p>					
<p>毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業翌年度に評価を実施</p>					

交付金事業の成果目標
及び成果実績

交付金事業の定性的な成果及び評価等

市営林道御岳線は、地元住民の生活関連林道及びクリスタルラインへのアクセス道路であり、1年を通じて往来する車両が多いため舗装面などの劣化が著しく、これに対する補修要望も増加していました。

また、林道改良工事（幅員の拡幅）が終了後、道路の改良・維持補修については殆ど実施していなかったことから、経年劣化が進み当該箇所において舗装面のクラック（ひび割れ）・陥没等による通行車両への支障が度々報告されてきました。

本事業で経年劣化した舗装面の修繕及び排水構造物の改修等を行うことにより、生活道路として利用する地域住民に加え、上流域へ通行する観光客の車両の安心・安全を確保することが可能となります。

平成30年度においても、地域住民及び観光客から要望が多数寄せられた劣化した舗装及び排水施設の修繕工事を実施し、修繕箇所における苦情件数0件を達成することができました。

また、平成6年度から本交付金を活用し、舗装維持修繕工事等を行っており、平成6年度から平成30年度までの24年間で総延長3,888.9mの区間を補修実績として達成しました。

平成31年度以降についても引き続き、林道及び付属構造物の修繕を行い、修繕箇所における苦情件数0件を目指し実施してまいります。

評価に係る第三者機関等の活用の有無

無し

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	平成30年度	年度	年度
	施工延長	活動実績	m	42.2		
		活動見込	m	42.2		
		達成度	%	100		
交付金事業の総事業費 等	平成30年度	年度	年度	備考		
総事業費	4,400,000					
交付金充当額	4,400,000					
うち文部科学省分	0					
うち経済産業省分	4,400,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
市営林道修繕工事		指名競争入札		丸浜舗道株式会社		4,687,200
交付金事業の担当課室	総務部市町村課					
交付金事業の評価課室	総務部市町村課					

別紙

I. 事業評価総括表 (30 年度)

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修、 又は維持 運営措置	河大杉東支線水路改修工事	富士吉田市	4,400,000	4,400,000	5,771,520円 (総事業費)

II. 事業評価個表 (30 年度)

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修、又は維持運営措置	河大杉東支線水路改修工事
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		富士吉田市
交付金事業実施場所	富士吉田市 下吉田	
交付金事業の概要	河大杉水路東支線にある水路の改修工事を行うもの。 (水路工 L = 76.0 m)	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>交付金事業に係る主要施策・施策：第6次総合計画（平成30年度～平成39年度） 4暮らしの安全性・利便性を高める『都市基盤・防災環境』の整備 ③道路・橋梁（2市内生活道路等の整備） ・整備にあたっては、市民の意見を十分に反映しながら、機能性・安全性及び災害時の有効性に配慮し、誰もが利用しやすい道づくりに努めます。</p> <p>目標 対象道路は、地域の住民が生活道路として使用している他、近年大型の衣料品店が出店したことにより、地域の住民以外の利用も増えております。このことから、既存道路に付随している水路の改修を行い、水路の上に蓋を設置することで、地域の交通環境を改善し、事故発生件数を0件から0件になるよう事故を未然に防ぎ、車両の円滑な通行の確保及び歩行者の安全確保を図ります。</p>	

事業開始年度	平成30年度	事業終了(予定)年度	平成39年度			
事業期間の設定理由	第6次総合計画の終期					
交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	平成31年度	
	事故発生件 数	事故発生件 数/年	成果実績	件		
			目標値	件	0	
			達成度			
	評価年度の設定理由					
	事業による成果実績の反映に一定期間を要するため、事業実施翌年度に評価を実施。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	交付金の活用による、河大杉東支線水路改修工事については、平成30年12月25日に完了いたしました。完成から現在に至るまでの事故発生件数は0件である。車両の円滑な通行の確保及び歩行者の安全確保に向けて、今後も事故発生を未然に防げるよう適切な維持管理に努めていきます。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	平成30年度	年度	年度
	水路改修の施工延長	活動実績	m	76.0		
		活動見込	m	76.0		
		達成度	%	100.0%		

交付金事業の総事業費等	平成30年度	年度	年度	備考
総事業費	4,400,000			
交付金充当額	4,400,000			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	4,400,000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
水路改修	指名競争入札	土木工業舟久保	5,771,520円	
交付金事業の担当課室	総務部市町村課			
交付金事業の評価課室	総務部市町村課			

別紙

I. 事業評価総括表 (30 年度)

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は維持運 営措置	柏原水路改修工事	甲州市	9,000,000	9,000,000	総事業費 16,036,920円

II. 事業評価個表 (30 年度)

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営措置	柏原水路改修工事				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		甲州市				
交付金事業実施場所	甲州市塩山上荻原地内					
交付金事業の概要	施工延長 L=249m、現場打水路工 1.0式、切梁サポート工 1.0式					
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>交付金事業に関する主要政策・施策：第2次甲州市総合計画（平成30年度～平成39年度） 基本目標3 快適で安心して暮らせるまちづくり 基本施策18 治山・治水 ・雨水排水などについては、宅地や道路への浸水を防止するために継続的な整備に努めます。 【目標】河川、水路の整備箇所 実績値 36箇所（平成28年度）目標値 40箇所（令和4年度）</p>					
事業開始年度	平成30年度	事業終了（予定）年度	令和9年度			
事業期間の設定理由	第2次甲州市総合計画（平成30年度～令和9年度）の終期まで					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	
	河川、水路の整備箇所 40箇所	当年度の整備 箇所数	成果実績	箇所	令和4年度	
			目標値	箇所		40
			達成度			
	評価年度の設定理由					
	計画の中間年度に評価を実施					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	事業予算の縮小によって年々事業量が減少しているため、計画に沿った目標達成が困難な状況にあります。維持管理を頻繁に行い、整備延長を最小限に抑えながら整備箇所数を増加させます。					
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	平成30年度	
	柏原水路における整備延長 (土水路→コンクリート水路)		活動実績	m	249	
			活動見込	m	249	
			達成度		100.0%	

交付金事業の総事業費等	平成30年度			備考
総事業費	9,000,000			単年度事業
交付金充当額	9,000,000			
うち文部科学省分	0			
うち経済産業省分	9,000,000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
水路工事	指名競争入札	株式会社大和工務店 (所在地：甲州市)	16,036,920	
交付金事業の担当課室	総務部市町村課			
交付金事業の評価課室	総務部市町村課			

別紙

I. 事業評価総括表 (30 年度)

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	地域活性化措置	中学校スクールバス運行事業	都留市	10,846,000	10,846,000	総事業費 20,803,910円

II. 事業評価個表 (30 年度)

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	地域活性化措置	中学校スクールバス運行事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		都留市	
交付金事業実施場所		都留市内小中学校	
交付金事業の概要		通学用スクールバス運行業務の実施（委託） （通行本数：中学校3本）	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する主要施策：</p> <p>①施策・第6次都留市長期総合計画（平成28年度～平成38年度） V 安全・安心、コミュニティ分野「紡ぎます！人と人のつながりのまち」 施策4 交通安全対策の推進 児童や生徒の通学路安全対策や高齢者障がい者の交通の安全を確保するため、市民、事業所、行政などが協力し、交通安全対策を進めます。</p> <p>②「都留市セーフコミュニティ」（平成30年度～）における安心・安全なまちづくりに係る事業の一環として 目標 平成30年度のスクールバスの運行中、事故発生件数は0件でした。平成31年度においても、発生件数0件を目指します。</p>	
事業開始年度		平成28年度	事業終了（予定）年度 平成38年度
事業期間の設定理由		第6次都留市長期総合計画の終期	

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度		平成30年度	
	事故件数0件	事業期間中の 事故発生件数	成果実績		件			0
			目標値		件			0
			達成度		%			100.0%
評価年度の設定理由								
年間を通しての事業であるため年度終了後の評価とする。								
交付金事業の定性的な成果及び評価等								
<p>都留市内の事故は平成30年1月～12月の間に97件（うち死亡2件）発生しており、平成29年度の事故発生件数と比べて減少しており、スクールバスの活用が減少理由の一つとなっている。また、過去には未成年の死亡事故も発生しているが、スクールバスを活用することで徒歩や自転車に代わる通学手段とすることができるため、生徒の登下校中における安全性の確保・交通事故発生防止要因の一つとなった。</p> <p>あわせて、スクールバスの使用区間は平成26年度から実施している「通学路安全推進協議会」において危険箇所である旨が指摘されているが、道路管理者や地権者との協議が難航し、道路改良が難しい箇所である。スクールバスを活用することで、道路の現状に関わらず児童生徒の通学における安全対策を実施することができた。</p> <p>また、スクールバスを利用する生徒に対する乗降車時の対応において、教員や地域のスクールガードとの協力体制の強化を図ることにより、より安全管理を徹底するとともに、生徒に対する交通安全指導を行うことにより安全な運用を継続して行うことができた。</p>								
評価に係る第三者機関等の活用の有無								
無								
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	平成29年度	平成30年度	年度	
	スクールバス運行中における事故発生件数	活動実績		件	0	0		
		活動見込		件	0	0		
		達成度		%	100.0%	100.0%		

交付金事業の総事業費等	平成29年度	平成30年度	年度	備考
総事業費	10,910,000	10,846,000		
交付金充当額	10,910,000	10,846,000		
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	10,910,000	10,846,000		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
通学用スクールバス運行業務の実施（通行本数：中学校3本）	特命随意契約	富士急山梨バス株式会社	20,803,910円	
交付金事業の担当課室	総務部市町村課			
交付金事業の評価課室	総務部市町村課			

別紙

I. 事業評価総括表 (30 年度)

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営	大月市立図書館運営事業	大月市	9,110,000	9,110,000	総事業費 11,982,973円

II. 事業評価個表 (30 年度)

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営	大月市立図書館運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大月市		
交付金事業実施場所		山梨県大月市駒橋一丁目5番1号		
交付金事業の概要		<p>大月市民の教育文化施設の拠点である大月市立図書館に専門知識・能力を有する司書や補助事務員津を適切に配置するとともに施設の機能充実や維持を図り、魅力ある大月市及び図書館とするため、電源立地地域対策交付金事業を大月市立図書館運営事業に充当しています。</p> <p>事業内訳 嘱託職員賃金 (1名×11カ月) 臨時職員賃金 (6名×11カ月) 光熱水費 (水・下水道×10カ月) 清掃業務委託 (10カ月)</p>		
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関係する主要施策・施策： 第7次総合計画 (平成30年度～令和9年度) 5 豊かな心が育つまちづくり ②図書館の充実 ・市民の読書や学習ニーズに対応できるよう蔵書等の拡充や館内環境の整備に努めます。</p> <p>【目標】 入館者数 平成29年度比0.5%の増加</p>		
事業開始年度		平成30年度	事業終了 (予定) 年度	令和9年度
事業期間の設定理由		第7次総合計画の終期まで		

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和10年度		
	入館者数 平成29年度比 0.5%増加	入館者数	成果実績	人			
			目標値	人	68,098		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	第7次総合計画の終了後に検証を行う。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無							
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	広報誌での情報発信回数		活動実績	回	12	12	12
			活動見込	回	12	12	12
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%

交付金事業の総事業費等	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
総事業費	9,121,000	9,098,000	9,110,000	
交付金充当額	9,121,000	9,098,000	9,110,000	
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	9,121,000	9,098,000	9,110,000	
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
嘱託職員、臨沂職員人件費	雇用	—	10,272,950	
上下水道使用料	競合他社なし	東部広域水道企業団	314,123	
清掃業務委託	見積合わせ	株式会社共和産業	1,395,900	
交付金事業の担当課室	総務部 市町村課			
交付金事業の評価課室	総務部 市町村課			

別紙

I. 事業評価総括表 (30 年度)

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備考
	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営措置	市道（円野）3号線道路改 良工事	菑崎市	4,309,200	4,309,200	総事業費 4,309,200

II. 事業評価個表 (30 年度)

番号	措置名	交付金事業の名称	
0	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営措置	市道（円野）3号線道路改良工事	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		韮崎市	
交付金事業実施場所		韮崎市円野町上円井地内	
交付金事業の概要		<p>水漏れによる道路陥没等の危険をなくすとともに、当該地域は高齢化率が高い地区であることから住民が安全して通行できるよう道路の整備を実施する。</p> <p>施工延長 L=44.0m 自由勾配側溝工 (B=300) L=44.0m アスファルト舗装工 (4-11-18) A=66.0m²</p>	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する主要施策・施策：第6次長期総合計画（平成21年度～平成30年度）</p> <p>3 心地よい定住環境のあるまちづくり</p> <p>③道路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地区の緊急度の高い要望箇所から整備を進めます。 <p>【目標】</p> <p>道路側溝の破損による水漏れ箇所をなくします。 水漏れ箇所 0 箇所 水漏れによる道路陥没等の危険をなくします。 水漏れによる道路陥没回数 0 回</p>	
事業開始年度		30年度	事業終了（予定）年度 30年度
事業期間の設定理由		第6次長期総合計画の終期まで	

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	30年度	
	水漏れ箇所 0 道路陥没回数 0	箇所数 陥没回数	成果実績	回	0		
			目標値	回	0		
			達成度	%	100.0%		
	評価年度の設定理由						
	実施結果を早急に把握するため、道路改良工事終了後早期に評価を実施						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
<p>今回の事業対象道路は、地域住民の基幹道路として利用されている生活に密着した道路である。また、道路面から側溝底までの高低差が約2mあり、側溝への転落の危険性があった。今回の事業実施により、道路側溝の破損による水漏れやこれに伴う道路陥没等の危険をなくすことができた。また、側溝に蓋をかけたため、歩行の危険性をなくすことができ、住民が安全な通行ができるようになった。今後も継続して水漏れ、陥没等がないよう適切な管理を実施していく。</p>							
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	30年度	年度	
	施工延長	活動実績		m	44		
		活動見込		m	44		
		達成度		%	100.0%		

交付金事業の総事業費等	30年度	年度	年度	備考
総事業費	4,309,200			
交付金充当額	4,309,200			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	4,309,200			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
市道（円野）3号線道路改良工事	指名競争入札	菰崎市円野町上円井2177 有限会社 細田工務所 代表取締役 細田啓二	4,309,200	
交付金事業の担当課室	総務部 市町村課			
交付金事業の評価課室	総務部 市町村課			

別紙

I. 事業評価総括表 (30 年度)

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営措置	市道21156号線舗装他 工事	山梨市	3,200,000	3,200,000	

Ⅱ. 事業評価個表 (30 年度)

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営措置	市道21156号線舗装他工事	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		山梨市	
交付金事業実施場所	山梨県山梨市牧丘町隼地内		
交付金事業の概要	<p>経年劣化のため通行に支障を来している市道21156号線の舗装工事及び未整備の道路下の水路の改修工事。</p> <p>【1工区】 施工延長 L=79.6m W=3.4~4.1m アスファルト舗装工 表層(t=4cm)A=301m²</p> <p>【2工区】 施工延長 L=18.8m 側溝工 L=18.0m 現場うち集水枡N=1箇所</p>		
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>第2次総合計画（平成29年度～平成34年度） 4 機能性が高く、落ち着いた住環境の山梨市 (4) 生活インフラの充実したまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路や生活関連道路、環境道路等を整備すること。 <p>【目標】舗装工事及び道路下の水路を改修することにより、地域住民の安全な通行を確保・事故の防止や住民の利便性・福祉の向上を図り、交通事故0件、苦情件数を0件を目指します。</p>		
事業開始年度	平成30年度	事業終了(予定)年度	平成34年度
事業期間の設定理由	第2次総合計画の終期		

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	平成31年度	
	交通事故0件 及び苦情0件	交通事故件 数及び苦情 件数	成果実績	件	-		
			目標値	件	0		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	今回の事業の成果を図るため、事業実施の翌年度早期に評価を実施						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	本交付金の活用により、通行の支障改善と安全性の確保ができました。完成から現在に至るまで事故発生件数は0件であり、今後も継続して事故発生件数0件を維持するように適切な管理を実施していきます。						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	30年度	年度	年度
	舗装施工延長	活動実績		m	79.6		
		活動見込		m	79.6		
		達成度		%	100.0%		
	活動指標			単位	30年度	年度	年度
	水路改修施工延長	活動実績		m	18.8		
		活動見込		m	18.8		
		達成度		%	100.0%		

交付金事業の総事業費等	30年度	年度	年度	備考
総事業費	3,200,000			
交付金充当額	3,200,000			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	3,200,000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
市道21156号線舗装他工事	指名競争入札	有限会社宮脇工業	3,726,000	
交付金事業の担当課室	総務部 市町村課			
交付金事業の評価課室	総務部 市町村課			

別紙

I. 事業評価総括表 (30 年度)

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営措置	市道31041号線舗装工事	山梨市	3,067,000	3,067,000	総事業費 3,616,920円

II. 事業評価個表 (30 年度)

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営措置	市道31041号線舗装工事				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		山梨市				
交付金事業実施場所		山梨市三富川浦地内				
交付金事業の概要		路面の亀裂や沈下により通行に支障をきたしている市道31041号線の道路舗装工事。 【施工延長】 【アスファルト舗装工】 L=149.3m A=739m ² W=4.1~6.0m 表層 t=4cm				
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第2次総合計画（平成29年度～平成34年度） 4 機能性が高く、落ち着いた住環境の山梨市 （4）生活インフラの充実したまち ・都市計画道路や生活関連道路、環境道路等を整備すること。 【目標】本路線の道路舗装工事によって交通事故を未然に防止し、地域住民の安全な通行を確保することにより、交通事故の防止・住民の利便性・福祉の向上を図り、交通事故件数0件、苦情件数0件を目指します				
事業開始年度		平成30年度	事業終了（予定）年度	平成34年度		
事業期間の設定理由		第2次総合計画の終期				
		成果目標	成果指標	単位	評価年度	年度
		交通事故0件及び苦情0件	交通事故件数及び苦情件数	成果実績	件	-
				目標値	件	0
				達成度	%	

交付金事業の成果目標 及び成果実績	評価年度の設定理由					
	今回の事業の成果を図るため、事業実施の翌年度早期に評価を実施					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	本交付金の活用により、通行の支障改善と安全性の確保ができました。完成から現在に至るまで事故発生件数が0件であり、今後も継続して事故発生件数0件を維持するよう適切な管理を実施していきます。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
交付金事業の活動指標 及び活動実績	無					
	活動指標		単位	30年度	年度	年度
	施工延長	活動実績	m	149.3		
		活動見込	m	149.3		
達成度		%	100.0%			

交付金事業の総事業費等	30年度	年度	年度	備考
総事業費	3,067,000			
交付金充当額	3,067,000			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	3,067,000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
市道31041号線舗装工事	指名競争入札	株式会社広瀬土木	3,616,920	
交付金事業の担当課室	総務部 市町村課			
交付金事業の評価課室	総務部 市町村課			

別紙

1. 事業評価総括表 (30 年度)

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当 額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等	三珠総合福祉センター2 階3階空調設備改修事業	市川三郷町	4,400,000	4,400,000	総事業費 7,905,600

II. 事業評価個表 (30 年度)

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等	三珠総合福祉センター2階3階空調設備改修事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		市川三郷町		
交付金事業実施場所		市川三郷町2,714番地2		
交付金事業の概要		<p>三珠総合福祉センターは昭和51年の竣工の施設で空調設備も老朽化してきている。現在の空調設備機器は、夏場は水冷式のクーリングタワー方式と、冬場はA重油を燃焼し発熱をする機器で、各部屋毎の冷暖房調整をすることが出来ない設備である。各部屋毎の電気式の空調設備を設置することにより、各部屋の空調調整が単独で出来るようになり利用者が快適に使用することができる。また、A重油を燃焼することによって発生する、二酸化炭素も削減できることから、電源立地交付金を活用し三珠総合福祉センターの空調設備改修を実施する。</p>		
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する政策等：市川三郷町第2次総合計画（平成29年度～平成38年度）安全・安心なまち 4自然と共生するまちづくり （2）自然環境・景観の保全と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の排出抑制、及びリサイクル対策の充実を進めます。 <p>目標 A重油の燃焼頻度を減らし、その結果A重油の年間使用量を30%削減する。</p> <p>その結果、二酸化炭素発生の抑制が期待できる。</p>		
事業開始年度		平成29年度	事業終了（予定）年度	平成38年度
事業期間の設定理由		市川三郷町第2次総合計画の終期		

交付金事業の成果目 標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	平成31年度
	A重油年 間使用料 の対前年 比30% 減	平成30年 度使用量 ÷平成29 年度使用 量×100	成果実績	%		
			目標値	%	3,640	
			達成度	%		
	評価年度の設定理由					
	1年間のA重油使用量で評価するため					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	本交付金活用によりA重油の使用量を平成29年度比較70%にしています。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無し					
交付金事業の活動指 標及び活動実績	活動指標		単位	平成30年度	年度	年度
	空調機器の整備台数	活動実績	基	7		
		活動見込	基	7		
		達成度	%	100.0%		

交付金事業の総事業費等	平成30年度	年度	年度	備考
総事業費	4,400,000			
交付金充当額	4,400,000			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	4,400,000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
三珠総合福祉センター2階・3階空調設備改修事業	指名競争入札	株式会社 甲斐電気	7,905,600	
交付金事業の担当課室	総務部市町村課			
交付金事業の評価課室	総務部市町村課			

別紙

I. 事業評価総括表 (30 年度)

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	地域活性化措置	小中学校スクールバス等運 行事業	早川町	14,300,000	14,300,000	総事業費 16,601,172円

II. 事業評価個表 (30 年度)

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	地域活性化措置	小中学校スクールバス等運行事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		早川町	
交付金事業実施場所		早川町内	
交付金事業の概要		小中学校スクールバス及び給食車運行委託	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関係する主要施策・施策： 早川町過疎地域自立促進計画（平成28年度～平成32年度） 7 教育の振興 児童・生徒の学習・生活環境の充実を図る</p> <p>目標：児童の交通事故に巻き込まれる件数、犯罪に巻き込まれる件数、食中毒件数を0から0とします。</p>	
事業開始年度		平成28年度	事業終了（予定）年度 令和2年度
事業期間の設定理由		早川町過疎地域自立促進計画の終期	

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和2年度
	事故件数 0件	事故件数対前年 比：翌年度事故 件数÷前年度事 故件数×100	成果実績	%		
			目標値	%	100	
			達成度	%		
	評価年度の設定理由					
	事業期間中の事故等件数をもって評価するため。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無						
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	平成30年度	年度
	運行日数		活動実績		272	
			活動見込	日	286	
			達成度		95.1%	

交付金事業の総事業費等	平成30年度	年度	年度	備考
総事業費	14,300,000			
交付金充当額	14,300,000			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	14,300,000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
スクールバス及び給食車運行業務委託	指名競争入札	(有)角瀬タクシー	6,874,200	
スクールバス及び給食車運行業務委託	指名競争入札	(株)俵屋観光	9,726,972	
交付金事業の担当課室	総務部市町村課			
交付金事業の評価課室	総務部市町村課			

別紙

I. 事業評価総括表 (30 年度)

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は は間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当 額	備 考
1	地域活性化措置	乗合バス整備事業	早川町	16,000,000	16,000,000	21,468,240

Ⅱ. 事業評価個表 (30 年度)

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	地域活性化措置	乗合バス整備事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		早川町	
交付金事業実施場所		早川町高住地内	
交付金事業の概要		乗合バス整備 【中型路線バス(ノンステップバス) 1台】	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する主要施策・施策：早川町過疎地域自立促進計画（平成28年度～平成32年度） 3 交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進 乗合バスの運行等の交通手段の確保が必要となっている</p> <p>目標：高齢化が進む本町においては、公共交通の必要性はとても高いものとなっています。さらに、本町は南アルプス山麓の急峻な地形の中にあり、南北約40kmに及ぶ細長い地域です。乗合バス1台の1日の運行距離は200kmを超えており、車両の適切な整備を行っていますが、近年修繕が多くなり負担が大きくなっていることから更新が必要となっています。乗合バス車両整備することにより、修繕費を削減5000千円/年→3500千円/年 に削減することを目標とします。</p>	
事業開始年度		平成28年度	事業終了(予定)年度 平成32年度
事業期間の設定理由		早川町過疎地域自立促進計画の終期まで	

	成果目標	成果指標		単位	評価年度		
					平成31年度		
交付金事業の成果目標及び成果実績	修繕費の対前年比70%	修繕費対前年比：翌年度修繕費÷前年度修繕費×100	成果実績	%			
			目標値	%	70		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	1年間の運行をし、前年度と比較をするため。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	平成30年度	年度	年度
	車両の購入台数		活動実績	台	1		
			活動見込	台	1		
			達成度		100.0%		
交付金事業の総事業費等	平成30年度		年度		年度	備考	
総事業費	16,000,000						
交付金充当額	16,000,000						
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	16,000,000						

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
乗合バス整備	指名競争入札	いすゞ自動車首都圏株式会社 山梨支社 甲府支店	21,468,240
交付金事業の担当課室	総務部市町村課		
交付金事業の評価課室	総務部市町村課		

別紙

I. 事業評価総括表 (30 年度)
(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当 額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営措置	町道角瀬白糸線落石防止 網設置工事	早川町	10,000,000	10,000,000	16,418,160

II. 事業評価個表 (30 年度)

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営措置	町道角瀬白糸線落石防止網設置工事		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		早川町		
交付金事業実施場所		早川町赤沢地内		
交付金事業の概要		町道角瀬白糸線落石防止網設置工事 (落石防止網設置 A=1, 059m ²)		
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に係る主要施策・施策：早川町過疎地域自立促進計画（平成28年度～平成32年度）</p> <p>3 交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進</p> <p>県道に接続する道路、集落内幹線道路、集落と集落及び他地域を結ぶ道路網の積極的な整備</p> <p>目標：生活道路の安全性を確保し、崩落などの事故件数を0とします。</p>		
事業開始年度		平成28年度	事業終了（予定）年度	平成32年度
事業期間の設定理由		早川町過疎地域自立促進計画の終期		

交付金事業の成果目 標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	平成31年度	
	事故件数0 件	事故件数対 前年比：翌 年度事故件 数÷前年度 事故件数× 100	成果実績		%		
			目標値		%	100	
			達成度		%		
評価年度の設定理由							
1年間の状況を確認し、前年度と事故件数を比較するため。							
交付金事業の定性的な成果及び評価等							
現状は事故件数は0件であり目標は達成されている。今後も事故が発生しないよう に現場管理に努めていく。							
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成30年度	年度	年度
	工事延長	活動実績	m ²	1,059		
		活動見込	m ²	1,059		
		達成度		100.0%		
交付金事業の総事業費等	平成30年度	年度	年度	備考		
総事業費	10,000,000					
交付金充当額	10,000,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	10,000,000					
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額		
	町道角瀬白糸線落石網設置工事	指名競争入札	早邦建設株式会社 代表取締役 望月 辰男	16,418,160		
交付金事業の担当課室	総務部市町村課					
交付金事業の評価課室	総務部市町村課					

別紙

I. 事業評価総括表 (30 年度)

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営措置	市道古屋敷沓沢線 道路維持修繕事業	南アルプス市	6,321,000	6,321,000	総事業費 (7,623,720)

II. 事業評価個表 (30 年度)

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営措置	市道古屋敷沓沢線道路維持修繕事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		南アルプス市		
交付金事業実施場所		南アルプス市 芦安芦倉 地内		
交付金事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・ 転落防止柵設置工事 L=68.5m ・ 舗装修繕工事 A=685m² 		
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>南アルプス市過疎地域自立促進計画（平成28年度～平成33年度）</p> <p>3 交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進</p> <p>(2) その対策（今後の取り組み）</p> <p>◆道路や橋梁の適正な維持管理、落石防止対策、安全施設の設置、冬期間の除雪、凍結防止対策の強化などを進めるとともに、関係機関との連携を図っていく。</p> <p>目標 市道古屋敷沓沢線における事故発生件数 0件</p>		
事業開始年度		平成28年度	事業終了（予定）年度	平成33年度
事業期間の設定理由		南アルプス市過疎地域自立促進計画の終期		

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	平成31年度	
	事故発生件 数0件	事故発生件 数	成果実績	件			
			目標値	件	0		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	事業実施翌年度に評価を実施するため。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	—						
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無し							
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	平成30年度	年度	年度
	転落防止柵の設置延長	活動実績	m	68.5			
		活動見込	m	69.0			
		達成度		99.3%			
	活動指標			単位	平成30年度	年度	年度
	舗装修繕施工面積	活動実績	m ²	685			
		活動見込	m ²	699			
		達成度		98.0%			

交付金事業の総事業費等	平成30年度	年度	年度	備考
総事業費	6,321,000			
交付金充当額	6,321,000			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	6,321,000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
転落防止柵設置工事	指名競争入札	(有)シンワ 代表取締役 中島 哲	2,808,000	
舗装修繕工事	指名競争入札	(有)丸利森本建設 代表取締役 森本 広土	4,815,720	
交付金事業の担当課室	総務部市町村課			
交付金事業の評価課室	総務部市町村課			

別紙

I. 事業評価総括表 (30 年度)

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施 設に係る 整備、維 持補修又 は維持運 営措置	町道駅裏線拡幅工事	西桂町	4,351,320	4,351,320	総事業費 4,351,320円

II. 事業評価個表 (30 年度)

番号	措置名	交付金事業の名称			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営措置	町道駅裏線拡幅工事			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		西桂町			
交付金事業実施場所	西桂町小沼地内				
交付金事業の概要	施工延長L=95.4m VS側溝工L=96.0m				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>交付金事業に関する主要施策：西桂町第5次総合計画（平成23年度～平成32年度） 第3部 後期基本計画 第3章 安心して快適な住みよいまち 第2節 道路交通網・公共交通体系の確立 (1) 広域的な道路体系の確立 ・町内の拠点施設や集落などを接続する道路網の計画的な整備に努めます。 【目標】平成29年度小中学校の登下校時におけるヒヤリ・ハット件数が18件でしたが、平成30年度は、対前年度比50%減の9件を成果目標として設定します。</p>				
事業開始年度	平成30年度	事業終了（予定）年度	平成30年度		
事業期間の設定理由	毎年度、西桂町が工事の実施を判断しているため。				
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	
	9件	前年度比50%減	成果実績	令和元年度	
			件	12件	
			目標値	9件	
			達成度	%	75.0%
	評価年度の設定理由				
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度に評価を実施。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
本交付金の活用によって側溝をつけることができ、道路排水の機能向上を計ることができた。					
評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無					

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	30年度	年度	年度
	施工延長		活動実績	m	95.4		
			活動見込	m	95.4		
			達成度	%	100.0%		
	活動指標			単位	30年度	年度	年度
	VS側溝工		活動実績	m	96.0		
			活動見込	m	96.0		
			達成度	%	100.0%		
	交付金事業の総事業費等		平成30年度	年度	年度	備考	
総事業費		4,351,320					
交付金充当額		4,351,320					
うち文部科学省分		0					
うち経済産業省分		4,351,320					
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
道路改良工事		指名競争入札		(有) 巴組		4,351,320	
交付金事業の担当課室		総務部市町村課					
交付金事業の評価課室		総務部市町村課					

別紙

I. 事業評価総括表 (30 年度)

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は維持運 営措置	上臼久保線支線道路改良拡 幅工事	忍野村	4,400,000	4,400,000	総事業費 16,338,240円

II. 事業評価個表 (30 年度)

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営措置	上臼久保線支線道路改良拡幅工事		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		忍野村		
交付金事業実施場所		忍野村忍草地内		
交付金事業の概要		道路改良拡幅工事 L=75m、W=6.0m		
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>第6次忍野村総合計画（基本構想 平成29年度～平成36年度、基本計画平成29年度～平成32年度） 基本構想 第8【防災・減災】災害発生にうろたえない対策準備 自然災害に対する対策準備が必要であり、近年大雨による道路冠水が発生しやすく、自然災害に対する万全の対応を図る必要がある。 目標：上臼久保線支線の側溝の排水設備を含む道路改修工事を実施する。 冠水箇所 1箇所→0箇所</p>		
事業開始年度		平成29年度	事業終了（予定）年度	令和2年度
事業期間の設定理由		第6次忍野村総合計画の終期		
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度
	冠水箇所0箇所	冠水箇所	成果実績	令和元年度
			目標値	0
			達成度	100.0%
	評価年度の設定理由			
	事業実施の翌年度早期に評価を実施			
	交付金事業の定性的な成果及び評価等			
	道路改修工事により冠水がなくなり、当該地区の防災機能が向上した。			
評価に係る第三者機関等の活用の有無				
無				

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	30年度	年度	年度
	冠水による被害件数		活動実績	件	0.0	
			活動見込	件	0.0	
			達成度	%	100.0%	
交付金事業の総事業費等	30年度	年度	年度	備考		
総事業費	4,400,000					
交付金充当額	4,400,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	4,400,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
上臼久保線支線道路改良拡幅工事		指名競争入札		小山田建設株式会社		16,338,240
交付金事業の担当課室	総務部 市町村課					
交付金事業の評価課室	総務部 市町村課					

別紙

I. 事業評価総括表 (30 年度)

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は は間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当 額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	市道テクノパーク1号線 道路維持修繕工事事業	上野原市	8,262,000	8,262,000	8,262,000

II. 事業評価個表 (30 年度)

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道テクノパーク1号線道路維持修繕工事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		上野原市		
交付金事業実施場所		上野原市八ッ沢地内		
交付金事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事延長 L=284.9m ・ 舗装工 オバーレイ工 A=2,370㎡ アスファルト舗装工 A=80㎡ ・ 区画線工 実線 W=15cm L=777m W=45cm L=40m 破線 L=92m 矢印 L=31m 		
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する主要政策・施策：新市建設計画（平成17年度～平成31年度）</p> <p>3. 「結びあうまちづくり」</p> <p>(5) 利便性の高い快適な都市－①道路網の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の安全で快適な生活確保と利便性向上に資するため、生活道路の整備推進に努めます。 <p>目標</p> <p>通行車両に対する支障改善及び安全性向上、住民の安全確保を図るとともに、交通事故等を未然に防ぎ、平成29年度に引続き道路改修地点における交通事故件数0件を目標とします。</p>		
事業開始年度		平成17年度	事業終了（予定）年度	平成31年度
事業期間の設定理由		新市建設計画終期まで		
		成果目標	成果指標	単位
				評価年度
				平成33年度
		交通事故件数	交通事故件数	成果実績
		0件	実績（件）	件
				目標値
				件
				達成度
				%
				0
				0.0%

交付金事業の成果目標及び成果実績	評価年度の設定理由					
	事業完了後、一定期間経過後に評価をすることにより、確実な成果の把握を図るため					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	<p>本交付金の活用により、道路の舗装改修及び区画線の明瞭化を実施した区間について、通行車両に対する支障が改善され、安全性が確保されました。過去に数件あった交通事故等の件数も、以前からの施工箇所を含め、供用開始後約一ヶ月間経過した今日においても継続して0件となっており、以降も引続き同様の効果が期待できます。</p> <p>今後は、舗装や区画線の状態を定期的に確認し、適切な維持管理を図っていきます。</p>					
交付金事業の活動指標及び活動実績	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
	活動指標		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	工事延長	活動実績	m	160.0	120.0	284.9
活動見込		m	160.0	120.0	284.9	
達成度		%	100.0%	100.0%	100.0%	
交付金事業の総事業費等	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考		
総事業費	8,389,440	4,644,000	8,262,000			
交付金充当額	8,267,000	4,267,000	8,262,000			
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	8,267,000	4,267,000	8,262,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額			
道路工事	一般競争入札	(有)中島	8,262,000			
交付金事業の担当課室	総務部市町村課					
交付金事業の評価課室	総務部市町村課					

別紙

I. 事業評価総括表 (30 年度)

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
2	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営措置	須玉町下津金地内和入沢水 路改修事業	北杜市	15,000,000	15,000,000	総事業費 28,155,600円

II. 事業評価個表 (30 年度)

番号	措置名	交付金事業の名称		
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営措置	須玉町下津金地内和入沢水路改修事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		北杜市		
交付金事業実施場所		北杜市須玉町下津金地内		
交付金事業の概要		<p>本水路は、以前から台風や集中豪雨の際に氾濫し、住宅への浸水被害をもたらし、地域住民の生活に大きな不安と影響を与えてきた。</p> <p>上流では、県営の砂防堰堤設置や溪流保全事業が進められているため、並行して下流の本水路を整備し、地域住民の安全・安心な生活を確保する。</p> <p>【水路改修】施工延長 L=161.25 W=1500*1200</p>		
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>第2次総合計画（平成29年～平成38年） 第3章 安全・安心で明るい杜づくり 6. 防災対策の充実 ・治山・治水、河川整備の推進</p> <p>【目標】砂防堰堤工事及び溪流保全事業に併せ、下流域の流水断面を確保することにより、大雨時の宅地への浸水被害を0件とする。</p>		
事業開始年度		平成29年度	事業終了（予定）年度	平成38年度
事業期間の設定理由		第2次総合計画の終期		
		成果目標	成果指標	単位
				評価年度
				平成31年度
		施工箇所における浸水被害 0件	浸水被害発生 件数	成果実績 件
				件
				達成度 %
				—
				0

交付金事業の成果目標 及び成果実績	評価年度の設定理由					
	今回の事業の成果を図るため、事業実施の翌年度に評価を実施。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	本交付金の活用により、本水路が整備でき、地域住民の安全・安心な生活を確保できた。完成から現在に至るまで約1か月が経過したが浸水発生件数は0件であり、今後も継続して浸水が発生しないよう適切な管理を実施していく。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
交付金事業の活動指標 及び活動実績	無					
	活動指標		単位	平成29年度	平成30年度	年度
	水路改修施工延長	活動実績	m	230.00	161.25	
		活動見込	m	230.00	161.25	
達成度		%	100.0%	100.0%		

交付金事業の総事業費等	平成29年度	平成30年度	年度	備考
総事業費	15,000,000	15,000,000		
交付金充当額	15,000,000	15,000,000		
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	15,000,000	15,000,000		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
水路改修 L=161.25	指名競争入札	株式会社フカサワ	28,155,600	
交付金事業の担当課室	総務部市町村課			
交付金事業の評価課室	総務部市町村課			

